

経 営 層 向 け

第3期

ビジネスと人権 エグゼクティブセミナー

10月19日～
全7回

人権を起点に、これからの企業経営を問い直す

対面開催

20名限定

人権を守るために、個人として、経営者として、ビジネスとして何ができるかを7名の講師と語り合う対話型研究会形式のセミナーです

第1回 2026年 10月19日(月)

人権を起点にしたサステナブル経営の最前線

若林 秀樹 さん C&C Link 代表

第2回 2026年 11月10日(火)

外国人受入れ新時代の課題と展望
～排外主義の風潮を超えて～

毛受 敏浩 さん 関西国際大学 客員教授

第3回 2026年 11月24日(火)

渋沢栄一の目指した資本主義、
そして現代の里山資本主義

渋沢 寿一 さん 特定非営利活動法人共存の森ネットワーク
理事長

第4回 2026年 12月14日(月)

国際人権の現場から～日本国内の人権問題、
そして、日本を取り巻く人権問題～

土井 香苗 さん 国際人権NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW)
日本代表

第5回 2027年 1月18日(月)

「集団浅慮」から考えるビジネスと人権

古賀 史健 さん 作家・ライター

第6回 2027年 2月8日(月)

情報空間と人権、そして企業
～アテンション・エコノミーと個人情報保護～

山本 龍彦 さん 慶應義塾大学大学院法務研究科 教授

第7回 2027年 2月16日(火)

言葉をひらく

永井 玲衣 さん 哲学者・作家

※ 開催時間は全日程共通です。

15:00～17:00 セミナー

17:00～18:30 意見交換 懇親会

参加費 200,000円 (税込)

当協会会員企業は150,000円 (税込)

※ 全7回分の参加費です

※ 各回ごとのお申込みは受け付けていません

※ 参加者の入れ替わりは自由ですが、

原則として部長相当職以上のご参加をお願いします

詳細・お申込み



<https://www.philanthropy.or.jp/seminar/exec2026/>

会場協力 アミタホールディングス株式会社

東京都千代田区神田駿河台4丁目3番地
新お茶の水ビルディング12階

アクセス

JR御茶ノ水駅 聖橋口改札 徒歩1分
東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅直結

主催：公益社団法人日本フィランソロピー協会 (JPA)

東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244 TEL: 03-5205-7580 HP: <https://www.philanthropy.or.jp/>



1776年、「万人は平等」、「生命、自由、幸福の追求」は「奪うことのできない権利」と米国が独立宣言で表明してから250年。近代の物語は、いまや大きな曲がり角を迎えています。かたや生成AIによって一段と加速される新たな情報環境では、個人の尊厳をどう守り、社会のあり方をどうすべきかが喫緊の課題として問われています。これまで「ビジネスと人権」について真剣な議論を重ねてきた当セミナーでは、改めてサステナブル経営の根幹をなす前提に立ち戻り、それを鍛え直さなければならないと考えます。不確実で混迷の時代であればこそ、ビジネスにおいてめざすべき企業倫理、人間学に思いを寄せたいと願います。



<プロフィール>

編集者・読書案内人。中央公論社（現・中央公論新社）で「婦人公論」「中央公論」編集長、新潮社で季刊誌「考える人」編集長を歴任。2017年株式会社ほぼ日に入社し「ほぼ日の学校」初代学校長を2021年10月まで務めた。著書に『言葉はこうして生き残った』『「考える人」は本を読む』など。京都橋大学客員教授、たちばな教養学校Ukon(うこん)学頭。公益社団法人日本フィランソロピー協会理事。

本セミナーでは、講師による講演のあと、座長・河野通和さんと講師との対話を中心に
ご参加の皆さまとの質疑応答や意見交換などの対話を通じて、より深い学びと新たな発見につながる機会としていただければ幸いです。

登壇者プロフィール

わかばやし ひでき

若林 秀樹さん

C&C Link 代表 / 国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 理事

1980年ヤマハ株式会社入社。ヤマハ労組・電機連合役員を経て、外務省、民主党参議院議員、参院憲法調査会副会長、アムネスティ日本事務局長、THINK Lobby所長、ビジネスと人権市民社会プラットフォーム代表幹事などを歴任。現在は、ビジネスと人権、国際人権基準、サステナビリティ、国際協力などをテーマに、主に企業や団体向けの講演やコンサルテーションを行っている。2024年4月、旭日中綬章を受章。



めんじゅ としひろ

毛受 敏浩さん

関西国際大学 客員教授

兵庫県庁勤務を経て、1988年より公益財団法人日本国際交流センターに勤務し、2024年9月まで執行理事を務める。現在は、文部科学省中央教育審議会日本語教育部会委員、JP-MIRAI理事、外国人雇用協議会顧問、新宿区多文化共生まちづくり会議副会長などを務める。近著に『移民1000万人時代 - 2040年の日本の姿』（朝日新書）。雑誌『文藝春秋』掲載の鼎談『亡国の「移民政策」』で第80回文藝春秋読者賞を受賞。

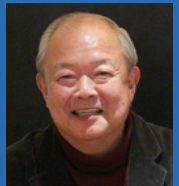


しぶさわ じゅいち

渋沢 寿一さん

特定非営利活動法人共存の森ネットワーク 理事長

国際協力機構専門家としてパラグアイに赴任後、長崎オランダ村やハウステンボスの企画・経営に携わる。その後、「聞き書き甲子園」や「なりわい塾」などの森林文化の教育・啓発事業を通して、人材育成や地域づくりに取り組む。1998年からは岡山県真庭市で木質バイオマスを活用した地域内循環経済「里山資本主義」を推進。2012年より東京都世田谷区教育委員。著書に『森と算盤』（大和書房）など。渋沢栄一の曾孫。



どい かなえ

土井 香苗さん

国際人権NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ（HRW）日本代表 / アメリカ・ニューヨーク州弁護士

弁護士として日本の難民の法的支援や難民認定法改正に携わった後、ニューヨーク大学ロースクールで国際学を専攻。2006~07年にヒューマン・ライツ・ウォッチ（HRW）ニューヨーク本部フェローを務め、2009年にHRW東京オフィスを設立。日本政府への「人権外交」導入の働きかけや、日本外交を通じた国際的な人権課題の解決、日本国内の人権問題への取り組みを進めている。



こが ふみたけ

古賀 史健さん

株式会社バトンズ 代表 / 作家・ライター

1998年に出版社勤務を経て独立。『嫌われる勇氣』『幸せになる勇氣』（岸見一郎氏との共著・ダイヤモンド社）は世界40以上の国と地域で翻訳されるベストセラーとなる。ほかに『さみしい夜にはペンを持って』『さみしい夜のページをめくれ』（ポプラ社）、『取材・執筆・推敲』（ダイヤモンド社）、フジテレビ問題を扱った『集団浅慮』（ダイヤモンド社）など著書多数。編著書累計発行部数は2,100万部を超える。



やまもと たつひこ

山本 龍彦さん

慶應義塾大学大学院法務研究科 教授

慶應義塾大学X Dignityセンター共同代表。日本公法学会理事、内閣府消費者委員会委員を務める。総務省の「ICT活用のためのリテラシー向上に関する検討会」座長や「デジタル空間における情報流通の健全性確保の在り方に関する検討WG」座長、デジタル庁「国際データガバナンス検討会」座長などを歴任。著書に『アテンション・エコノミーのジレンマ』（KADOKAWA）、『AIと憲法』（日本経済新聞出版社）、『超個人主義』の逆説—AI社会への憲法的警句』（弘文堂）など。



ながい れい

永井 玲衣さん

哲学者・作家

哲学対話や「おずおずダイアログ」など、人びとと考え合い、ききあう場づくりに各地で取り組む。写真家・八木咲氏とのユニット「せんそうってプロジェクト」や、Gotch氏主催のムーブメント「D2021」でも活動。著書に『水中の哲学者たち』（晶文堂）、『世界の適切な保存』（講談社）、『さみしくてごめん』（大和書房）など。第17回「わたくし、つまりNobody賞」受賞。詩と植物園と念入りな散歩が好き。

